

調査日 2007年11月13(火)～15日(木) 晴れ
調査者 岡山県林業試験場 片桐智之 技師 他3名
調査同行 森林総合研究所 松浦、石塚、稲垣

2日間にかけて、2つのグレード1調査地(330275および330345)を調査した。下記にその概要を報告する。

調査地点ID 330275 津山市(旧久米町)中北下1558-2
調査グレード グレード1
林相 ヒノキ人工林(一部広葉樹林)
土壌型 rB₀(d)

概要 中国自動車道のすぐ脇にある、小さな面積の人工林。すぐ脇に田畑や民家が有り市街地にも近かった。炭素量調査の1点はなだらかな湿地(水路)の中に有り、サンプリングできなかった。

土壌は代表断面および炭素蓄積量調査3点の全てにおいて、2cm程度のH層が存在し、A層の厚さは極めて薄く、土層全体が強く緻密な土壌であった。代表断面は薄いB層の下に、20cmほどの層界のはっきりしない埋没層が存在し、古くからの人為活動の影響が示唆された。最下層は5YRの土色を示した。炭素量調査地点のうち1点では、明らかに赤色土に区分される鮮明な赤色のB層が存在した。

代表断面地点(R)では堆積有機物のサンプリングを行わないため、H層にするかHA層にするかという層位区分の考え方によって取るサンプルが変わることを確認した。



調査地点ID	330345	津山市加茂町宇野 5 8 7
調査グレード	グレード1	
林相	落葉広葉樹林	
土壌型	B _b	

概要 林道の脇から50m程度登ったところにある、尾根上の広葉樹林。登る途中の沢沿いには人工林が広がる。花崗岩風化物の上に堆積した土壌で、尾根の中心上にある炭素量調査地点の土層は薄かった。

代表断面調査は尾根上を斜面方向に下った地点で行った。B層付近に風化礫を含んでおり、70cm程度の深さから花崗岩風化物の母材があらわれた。

